

厚生労働省科学研究班「成人先天性心疾患の診療体系の確立に関する研究」

## 小児科から内科への移行医療が大きな問題となる 成人先天性心疾患の診療体制の構築について

国立循環器病研究センター小児循環器部  
白石 公



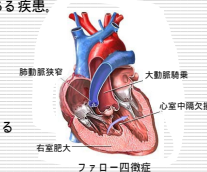
厚生労働省科学研究班「成人先天性心疾患の診療体系の確立に関する研究」

## 成人先天性心疾患とは

先天性心疾患:

胎児期の心臓形成障害により生まれつき心臓に構造異常のある疾患。

種類: 心室中隔欠損、心房中隔欠損、動脈管開存  
ファロー四徴、完全大血管転位、単心室など



頻度: 全出生の約1%、年間約12,000人が発症  
治療: 約50%の患者に心臓外科手術が必要  
予後: 医療技術の進歩により約90%が成人に到達する

成人先天性心疾患:

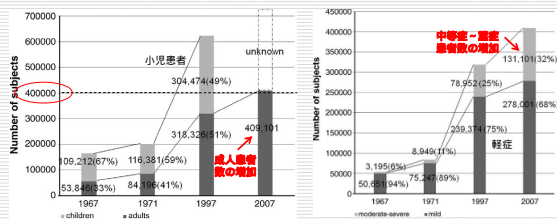
小児期に手術を受けた先天性心疾患の術後遠隔期、もしくは成人期に発症する先天性心疾患

遺残症や続発症に加えて、成人期に難治性不整脈や心不全が出現する  
さらに加齢による肥満や動脈硬化などの生活習慣病の要素が加わる

小児期から成人期までの生涯にわたる継続的ケアが必要である

厚生労働省科学研究班「成人先天性心疾患の診療体系の確立に関する研究」

## 成人期の先天性心疾患患者数の現状と推移



(Shiina et al., Int J Cardiol 2011;146:13-16)

1. 現在約40万人以上の成人先天性心疾患患者が存在し、患者数は増加の一途にある！
2. 複雑先天性心疾患の術後症例(中等症～重症例)が増加している。

厚生労働省科学研究班「成人先天性心疾患の診療体系の確立に関する研究」

## 成人期に達した先天性心疾患の問題点

1. 複雑先天性心疾患の術後患者さんが増加しており、疾患特有の遺残症や続発症により、高度な診療を必要としている。
2. 術後遠隔期になると、不整脈や心不全などの新たな症状が出現する。
3. 成人期に入ると肥満、高血圧、糖尿病など生活習慣病が加わるとともに、加齢による障害も発症するため、小児科医では対応できない。
4. 女性では、妊娠/出産を契機に症状が悪化する。
5. 小児期から入院や手術を繰り返しているため、社会的および経済的に自立困難な患者が多い。
6. 根治手術を受けて治癒したと思い、通院しなくなる患者さんが多い。
7. 年齢制限のために小児病院には入院できない。一方、循環器内科医は経験が少ないために敬遠する傾向にある。



1. 患者が安心して受診できる専門施設がない、患者が行き場を失っている。
2. 多科多職種による診療体制の早急な確立が必要！

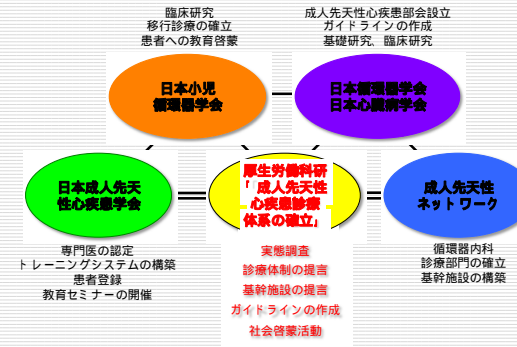
厚生労働省科学研究班「成人先天性心疾患の診療体系の確立に関する研究」

## 厚生労働科研での調査内容とその対策

1. 患者実態調査：患者数、疾患内訳、重症度、手術数、出産数など
2. 医療側の現状調査：循環器医、小児循環器医からのアンケート調査
3. 多科および多職種から構成される専門医療チームの確立
4. 集約化施設の認定
5. 専門医制度の確立、専門医師の教育と養成
6. 学会と連携した患者登録の実施、データの電子化/共有システムの確立
7. 安全な妊娠・出産のための科学的根拠やエビデンスの蓄積
8. 学会での啓蒙活動（教育セミナー）や社会的啓蒙活動（公開講座など）
9. 医療保障制度改革や患者の社会的支援に向けた提言

厚生労働省科学研究班「成人先天性心疾患の診療体系の確立に関する研究」

## 関連学会との連携



厚生労働省科学研究班「成人先天性心疾患の診療体系の確立に関する研究」

## 循環器内科における診療実態と対策

成人先天性心疾患診療に積極的に参加する意思ありは循環器内科の約30%  
 しかしながら現時点で専門外来を開設している施設はわずか3%  
 入院患者を扱う354施設の82%は年間10人未満  
 外科手術を行う232施設の81%は年間10例未満  
**日本には基幹施設が極めて少ない、教育体制ができていない！！**

循環器内科医に診療参加を促すために必要な対策として、  
 全国各地域に基幹施設（ACHDネットワーク）を確立する  
 日本循環器学会で部会や教育セッションの開設  
 成人先天性心疾患に関する基本的な教育セミナーの開催  
 臨床トレーニングシステムおよび認定医/専門医制度の確立  
 疾患ガイドラインの充実、教科書の執筆

厚生労働省科学研究班「成人先天性心疾患の診療体系の確立に関する研究」

## 成人先天性心疾患集約化施設の基準案

1. 循環器内科が診療の意向がある。
  2. 小児循環器内科医が1名以上いる。
  3. 小児心臓血管外科医が1名以上いる。
  4. 現時点でACHD専門外来を有する、または設置の意向がある。
  5. 心カテーテル検査・不整脈・断層心エコーを専門とする医師がいる。
  6. 成人心疾患患者に対する十分な検査・治療経験がある。
  7. MR、3DCTなど必要な設備がある。
  8. 産科・精神科・脳外科・ICUがある。
- 以上の基準で全国の循環器内科施設に診療開設の可能性を調査

88 National Cerebral and Cardiovascular Center